

衣類のお手入れ通信

明けましておめでとうございます。昨年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も皆様の「もう一度着たいを、叶える。」にお応えできるように、さらなる技術の向上に努めます。本年もよろしくお願い致します。

【ウール製品にシミが付いた時の正しい処理の仕方】

以前は冬物アイテムの素材といえば圧倒的にウール製品でした。しかし近年は、フリースをはじめとしたポリエステルなどの化学繊維の製品が台頭しています。これらの製品は軽くて暖かいというだけでなく、色彩豊富でハイセンスなデザインのうえ低価格、しかも家庭で気軽に洗えるということもあり、老若男女を問わず爆発的な人気があるようです。

しかし、今でもこだわりを持った方々は、ジャケットやボトム、セーター、カーディガン、マフラー、そして軽くて暖かいカシミアのコートなど、おしゃれ着にはやはりウールを愛用しておられるようです。そこで今回は、ウール製品の正しいケアの仕方をご紹介します。

年末から年始にかけてパーティや宴会が多い中よく出くわすアクシデントが、飲み物やドレッシング類で大切なウール製品を汚されてしまう、あるいは自分でうっかり汚してしまう、というケースではないでしょうか。このような時よく見かけるのが、ハンカチ等を濡らしてゴシゴシとふき取ったり、汚れた部分に水分を加えて手で揉んだりするシーンです。実はこれは絶対にやってはいけない対処法なのです。ウール繊維は表面がウロコ状にできていますので、その性質上、濡れた状態で揉みますと繊維が絡み合っただけで硬くなり、その部分が収縮（フェルト化）してしまうのです。そこで、もしシミがついてしまった場合は、**すぐに水で濡らしたハンカチなどで、上からトントントンと軽くたたく程度にしておいてください**。その後はシミが変質する前に私どもにお任せいただければ、またフンワリとしたウール特有の品質を保ってお返しいたします。

日本は現在においても、ウールを世界で一番多く消費しているそうです。正しいケアで、化学繊維にはないウール独特の風合いをお楽しみ下さい。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6
TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>
発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、蟹江町、弥富市、飛島村、津島市、集配致します。